

平成 17 年度 事業計画

財団法人 大阪国際交流センター

グローバル化の進展と情報通信技術の飛躍的な革新・進歩を背景に、政治・経済・文化をはじめ、さまざまな分野での人・もの・情報の交流がより活発になっていくことに伴い、国際社会の動向と市民生活や地域社会とが直接影響し合う国際的な相互依存関係が深まっています。その結果、国の枠を越えて都市がその個性や魅力、創造性を競い合う「都市の時代」を迎え、また本格的な地方分権化の潮流のもと、国際社会の変化を的確にとらえ、地球的な視野に立っての国際交流・協力活動を推進していくことがますます重要になってまいります。一方、近年躍進めざましいNGO・NPOと連携・協力した事業展開も必要となっております。

大阪国際交流センターは、1987年に開設して以来、大阪を中心とした関西一円において、歴史、文化等地域の特性を活かした国際交流活動や市民・外国人を含む地域の住民の国際交流・国際協力に資する事業を積極的に展開することにより、市民レベルの相互理解や友好親善を促進するとともに、わが国の国際化に寄与し、現在では全国有数の地域国際化協会として発展を遂げてまいりました。

平成 17 年度は、地域国際化協会を取り巻く環境が大きく変化し、また極めて厳しい経済情勢のなかで、過去からの実績をふまえ、事業の選択と集中を行い、大阪国際交流センターの存在意義を高めてまいりたいと考えております。現在、他団体で同様の事業展開が図られているもの、センターがその先導的役割を果たしたと考えられるもの等は、その役割を譲る等、時代の流れに柔軟に対応して、効率的・効果的な事業を展開してまいります。また、国内外への情報発信の強化やきめ細かい地域内広報の充実により国際理解・国際協力の意識の醸成を図るとともに、国内外の文化交流の充実による当センターの利用率向上・来館者の増大・認知度アップをめざした販わい戦略を一層推進いたします。一方で、新たな時代のニーズに的確に対応した施策・事業の展開およびNGO・NPOとの連携・協力にも一層力を注ぎ、幅広いボランティアの人材養成の充実を図るとともに、センター事業を通じ、留学生・在住外国人・ボランティア・地域住民等の「人的ネットワーク」の構築を推進してまいりたいと考えております。

新たな事業としては、外国人ボランティア等による企画運営事業として、小・中学校の児童・生徒を対象とした外国人との交流事業、在住外国人の親子を対象とした事業、外務省の周年事業と連携した日韓友情年 2005 記念事業、2005 年日・EU 市民交流年記念事業等を、

当センターを拠点とした集客を図りながら実施いたします。

一方、センター設立後 17 年を経過し、今後の国際交流の実施主体を担っていくと想定される市民団体やNPO等に対して、優良な活動の場を提供する観点から、適切な施設の維持整備に取り組んでまいります。

引き続き、事業の効果的・効率的執行に努めるとともに、大阪国際交流センターの将来像を展望しつつ、国際交流活動の拠点として、先導的・積極的な活動を推進し、大阪はもとより関西一円における国際化の進展に努めてまいります。